

成果

保護者アンケート) 1 2 3 4 5 6 7
「1_楽しく学校生活を送っている」 「2_確かな学力を育む授業」 「4_宿題家庭学習」 「7_生活リズムの改善に取り組む」
 ○7項目のうち4項目で「3.5以上」の高い平均値だった。「2.9以下」の平均値となる項目はなかった。
 児童アンケート) 1 2 3 4 5 6 7 8
「1_学校は楽しい」 「2_授業はわかりやすい」 「3_専科・教科担任」 「4_先生との関わり」 「7_運動」 「8_家でのルール」
 ○8項目のうち6項目で「3.5以上」の高い平均値だった。「2.9以下」の平均値となる項目はなかった。

| 保護者アンケート結果 回答数 174/247家庭 回収率70.4% | | A | B | C | D | ? | ? | A | B | C | D | ? | ? | 令和4年度平均値 |
|-----------------------------------|---|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----|-----|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-----|---|----------|
| 保護者アンケート結果 | | 4 個 数 (はい) | 3 個 数 (だいたい) | 2 個 数 (あまり) | 1 個 数 (いいえ) | ? | ? | 4 割 合 (はい) | 3 割 合 (だいたい) | 2 割 合 (あまり) | 1 割 合 (いいえ) | ? | ? | |
| 1 | 1おさんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。 | 111 | 42 | 0 | 2 | 1 | 156 | 71% | 27% | 0% | 1% | 1% | | 3.7 |
| 2 | 2学校では、基礎・基本の定着と確かな学力を育む授業が行われていると思いますか。 | 96 | 52 | 3 | 1 | 4 | 156 | 62% | 33% | 2% | 1% | 3% | | 3.6 |
| 3 | 3学校では、一人一人のつまずきや困り感に応じた支援が行われていると思いますか。 | 49 | 66 | 14 | 7 | 20 | 156 | 31% | 42% | 9% | 4% | 13% | | 3.2 |
| 4 | 4ご家庭では、お子さんに宿題や家庭学習に取り組ませていますか。 | 84 | 62 | 8 | 1 | 0 | 155 | 54% | 40% | 5% | 1% | 0% | | 3.5 |
| 5 | 5おさんは、あいさつや言葉遣いが定着していますか。 | 37 | 94 | 21 | 4 | 0 | 156 | 24% | 60% | 13% | 3% | 0% | | 3.1 |
| 6 | 6学校では、いじめについて、未然防止と早期対応が行われていると思いますか。 | 41 | 58 | 13 | 2 | 41 | 155 | 26% | 37% | 8% | 1% | 26% | | 3.2 |
| 7 | 7家庭では、おさんの生活リズム定着と改善を進めていますか。 | 83 | 65 | 6 | 0 | 1 | 155 | 54% | 42% | 4% | 0% | 1% | | 3.5 |

＜アンケート記述より（要旨）＞

- 2学年の学芸会やかけ算の授業、体育、ひまわり観察や絵の指導など、担任枠をこえた取り組み方や指導が工夫されていて素晴らしいと感じます。
- 先日の学芸会、すごく感動しました。準備や指導にどれだけの時間と忍耐をと思うと…。普段も、細かな良かった事の報告や深いところまで心配してくださったり…。子供たちが、先生方のお大変さを感じるくらいに成長した時、ぶつかった壁を乗り越える糧になると思います。
- 学校だよりがカラーになり、大変読みやすく、写真も分かりやすくありがたいです。

→保護者アンケート結果では、7項目中4項目で3.5以上の高い評価をいただきました。学校での日常の教育実践は子供たちの良き姿に結びついていると評価を頂けたと捉えています。

→児童アンケートでは、8項目の結果の高い平均値から子供たちは自分の学校生活を肯定的に捉えて過ごしていることがわかりました。子供たちが「しっかりやれている」と自信をもって生活している表れと捉えています。

課題

保護者アンケート) 1 2 3 4 5 6 7
「3_一人一人のつまずきや困り感に応じた指導」 「5_あいさつや言葉遣いの定着」
 ▲「3_一人一人のつまずきや困り感に応じた指導」「5_あいさつや言葉遣いの定着」は、否定評価「2・1」が10%以上だった。
 ▲「3_一人一人のつまずきや困り感に応じた指導」「6_いじめへの対応」は、「？」の割合が高かった。
 児童アンケート) 1 2 3 4 5 6 7 8 「5_宿題・家庭学習」 「6_あいさつ」 「7_外遊び・運動」
 ▲「5_宿題・家庭学習」「6_あいさつ」「7_外遊び・運動」は、否定評価「2・1」が10%以上だった。
 ▲特に、「5_宿題・家庭学習」は否定評価が25%をこえていた。
 ▲「7_外遊び・運動」は、「3.5以上」の高い平均値であるものの否定評価「1」が5%をこえており、二極化が表れている。

＜アンケート記述より（要旨）＞

- ▲通級ともっと連携をとって欲しいです。
- ▲子どもの発達の面で相談した際「医者のような配慮はしない」と言われた。何故そのようなことを言われなければならないのか。
- ▲つねられたり蹴られたことがあり担任に相談したところ「あいつも悪いやつじゃない」「担任に相談するように子どもに話して」と言われた。暴力は継続していた為「先生に話したの?」と聞くと「先生に話しても『あっそう』って言われた。」と返事があった。その頃子どもは登校を渋っていた。
- ▲時折、怒り方や指導に納得できないようなので、家庭では『先生はこう言いたかったのでは?』と話すこともあります。心配な時は担任と相談します。
- ▲学級担任の児童に対する言葉遣いが気になっています。子供が担任から冷たくされた、担任からひどい言葉を言われた等言っていたので学校に対する不信感が強いです。教師の研修やスキルアップ等、人材を改善できることはしてほしい。
- ▲子供に対する言葉遣い、向き合い方がどうなんだろうと思うところがある。学校に行きたくないと言ったことが増えた。自ら進んで勉強を頑張ると言う気持ちがどんどんなくなっている。悪いところばかり見て、良いところをのばそうとしてくれてるのか…謎。
- ▲参観日を見てても授業の教え方がわかりにくいと感じた。
- ▲漢字ノート作りはいつ、どのように作っていて、どのくらいの頻度でやっているのか、また家庭学習などした時のご褒美シールの仕組みなど、細かな事でもクラスでどんな取り組み方をしているのか、もう少し親にもわかるようにしてほしい。子供本人もわかっているのかかわからない時があります。

→「宿題・家庭学習」では、児童は26%が不十分であると答えています。保護者アンケート結果からご家庭では十分に組み立てている現状を踏まえ、「学年にあった時間取り組む」ことを重視しながら、家庭学習への環境づくりを学校と家庭で連携・共有して進めていくことが重要だと考えます。

→「外遊び・運動」は、二極化がみられます。どの子にも、また個に応じた意図的・計画的に運動への働きかけを行っていく必要があると考えます。

→「3_一人一人のつまずきや困り感に応じた指導」の項目は13%のご家庭が否定評価の回答でした。また「6_いじめの未然防止と早期対応」と「3_一人一人のつまずきや困り感に応じた指導」は「わからない(?)」の回答が多くありました。同様の児童アンケート項目「学校には、つまずいたり困ったときに支えてくれる先生がいます」の回答結果では、98%の児童が肯定評価でした。

→「5_あいさつや言葉遣いの定着」の項目は16%のご家庭が否定評価の回答でした。児童アンケート「6_あいさつ」の項目でも13%が否定評価の回答でした。このことから、およそ8割の児童は意識的にあいさつや正しい言葉遣いに取り組んでいると自覚している半面、1割程度は自らでも課題があると認識している、改善を後押しする必要があると捉えられます。

→「ご家庭との共有の姿勢」「児童への接し方」には、記述でも改善すべき課題を具体的に挙げていただきました。2つのアンケート結果とてらして、「子供たちは教職員を相談者として信頼してくれている」という現状にある中で、学校はどの子も困り感のある時があると理解して子供への共感的理解のもとで子供の変化を逃さずに捉え、真に家庭と連携してお子さんのつまずきや困り感を解消することに尽力していかなければならないと再確認しました。

| 児童アンケート結果 315/327人 回収率96.3% | | 全校 | | | | | | | | | | | R4平均 |
|-----------------------------|---|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-----|-----|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---|------|
| 児童アンケート結果 | | 4 個 数 (はい) | 3 個 数 (だいたい) | 2 個 数 (あまり) | 1 個 数 (いいえ) | ? | ? | 4 割 合 (はい) | 3 割 合 (だいたい) | 2 割 合 (あまり) | 1 割 合 (いいえ) | ? | |
| 1 | 1学校は楽しいです。 | 229 | 61 | 18 | 7 | 315 | 73% | 19% | 6% | 2% | | | 3.6 |
| 2 | 2授業はわかりやすいです。 | 191 | 109 | 9 | 6 | 315 | 61% | 35% | 3% | 2% | | | 3.5 |
| 3 | 3教科の先生が授業をしたり、支援員の先生がクラスに来てくれることは、よいです。 | 267 | 41 | 4 | 3 | 315 | 85% | 13% | 1% | 1% | | | 3.8 |
| 4 | 4学校には、つまずいたり困ったときに支えてくれる先生がいます。 | 242 | 66 | 5 | 2 | 315 | 77% | 21% | 2% | 1% | | | 3.7 |
| 5 | 5わたしは、宿題や家庭学習を学年にあった時間やっています。 | 149 | 85 | 68 | 13 | 315 | 47% | 27% | 22% | 4% | | | 3.2 |
| 6 | 6わたしは、自分からあいさつをしています。 | 173 | 101 | 32 | 9 | 315 | 55% | 32% | 10% | 3% | | | 3.4 |
| 7 | 7わたしは、外遊びや運動をよくしています。 | 206 | 65 | 25 | 19 | 315 | 65% | 21% | 8% | 6% | | | 3.5 |
| 8 | 8わたしは、家でおうちの方からの注意やルールを守って生活をしています。 | 186 | 107 | 16 | 6 | 315 | 59% | 34% | 5% | 2% | | | 3.5 |

カラーの学校だよりは
 ホームページで
 公開しています



（その他_学校に寄せていただいた意見）〈アンケート記述からその要旨を掲載させていただきました〉

コロナ禍における学習

- ▲屋内での体育の時も、マスクを外した方が良い。厚労省・文科省の「子どものマスク着用について」のリーフレットにもそのように記載されています。
- ▲学芸会での、生徒のマスク着用はどうかなど。声も聞こえないし顔も見えない。
- ▲来年度の運動会は、感染状況もありますが、コロナ渦前のように全学年で行って欲しいです。学年だけの開催は運動会ではなく体育の参観日というような感じもして寂しい。
- ▲運動会は、屋外なので、感染対策を緩和してもいいと思いました。
- ▲中学校との行事等の連携をとってほしい。
- ▲運動会延期の場合の見通しを早期に提示してほしい。

コロナ禍において、保護者の皆様には児童の健康・安全にご配慮くださり、また臨時休校や学級閉鎖、出席停止の際における学習へのご協力をいただきありがとうございます。

学校では「毎日の検温」、「ご家族に風邪症状等の体調不良がある場合には登校を控えていただく」、「登校後の体調不良が見られた場合はお迎えの連絡をさせていただく」等のご協力をお願いを続け、感染拡大の防止に努めてきました。

学芸会は、感染症拡大予防の観点を順守しつつ安全に開催できるようマスクをつけて実施しました。日常の校内では現在も「手洗い、マスク、換気」を主として感染拡大予防と学びを両立させることを目指して感染症対策を行っています。体育の授業では、感染症対策上の配慮を行ったうえで、種目や環境に応じてマスクを外した指導を行っています。感染状況によって、今後は対策のありようも変わっていくことがあると思います。対策には、道教委の通知をもとに町教委の指示を受けの確な感染症対策を行っていきます。

その他〔町教委との連携／PTA との連携〕

- ▲PTA 広報委員が任意となったことでそれまで毎年発行されていた広報誌が無くなってしまったことが残念です。以前の広報誌では、年度初めに新しく赴任された先生の顔写真や質問の答えがあったりして、なんとなくこんな感じの先生かなと想像できたのですが、ここ数年は顔も名前もよく分からない先生ばかりになり残念です。
- ▲新一年生になる子で、スクールバスを利用する子の練習を親と一緒に春休み中でも実施して欲しい。
- ▲学芸会当日は、スクールバスが朝1本しかなく、兄弟が居たら、親は行ったり来たり、教室で待機も可能だったが何時間も待つ。スクールバスの本数を増やして欲しい。
- ▲給食費.PTA 会費が高すぎる。

スクールバスのあり方の変更は、町の施策と深くかかわります。スクールバスは子供が安心して学校に通い学ぶ大切な路線です。必要とするスクールバスの運行について成果と課題を共有します。

PTA 活動では、例年行っている企画は「しなければならないではない」ということを確認し、今年度は「しなければならない企画」から「やれる企画」への移行が進められています。PTA の今年度の活動反省は2月のPTA 運営委員会で行われる予定です。

今年度、学校では「つなげよう、子どもたちの未来へ～身につけさせるべき力を、確実に～」をスローガンとして、「感染予防の徹底と学びの保障の両立を図る」「組織的で成果の見える授業改善を進める」「児童の主体的な学習習慣の定着を図る」「教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図る」「組織的で一貫性のある生徒指導・教育相談の充実を図る」「体験的・集団的活動の充実を図る」「児童の体力の維持・増進を図る」「家庭での生活習慣の把握とその改善を図るべく家庭との連携を強化する」「信頼される学校づくりを推進する」について、意図的に取り組んできました。

令和4年度の学年のまとめに向けて、学校では「見通し」「振り返り」「対話」を適切に位置付けた授業を行いつつ、高学年では教科担任制のメリットを活かした専科指導や交換授業を充実させながら授業改善を進めます。また、生活リズムや家庭学習習慣の改善に当たって、保護者の皆様はもちろん、幼保、中学校、関係機関との共通認識のもと、連携を強化しながら、「身に付けさせるべき力を、確実に」の教育を実行してまいります。

学校のありよう

- ▲学校生活の事は子どもを介しての判断となるので、このアンケートに関して分からない事が沢山で申し訳ないです。
- ▲定期的に保護者アンケートをとってほしい。(個人が特定されないような)
- ▲学校の連絡網のメールは、両親の登録をお願いしたい。どちらかが忘れていてもカバー出来るし、父親も少しは学校の事に関心を持って欲しいので。

コロナ禍で、保護者の皆様には参観日をはじめお子さんの日常の様子に触れる機会には多くの制限を設けることとなりご不便をおかけいたしました。そのような中で、学校では、学校の魅力や子供の活動の様子、必要な支援などについて積極的に情報発信をするよう心掛けてきました。

今後のお子さんの日常の様子を学校とご家庭で共有する具体として、学校だよりや学年・学級通信の発行などの情報発信のほか、アンケートの有効活用やご家庭それぞれとの連携強化の重要性を再認し、持続的・実効的な取組を進めてまいります。

マメールの利用には全体の登録戸数に制限があり、新十津川小の規模では「各家庭1」の利用をお願いしているところです。

- ▲2学年は児童の人数が多いので、3学級がよいと思います。
- ▲低学年(1年から2年になる時)の担任変更は如何なものかなと思いました。転任などの関係もあったと思いますが…。せめて、1、2年は持ち上がりで良かったと感じます。

学級数は人数による基準が定められていますので増減は学校で決定できるものではありませんが、お子さんを支援するための支援体制として、本校には町費により特別支援教育支援員と学習支援サポーターの7名の職員を配置しています。7名の職員はいつも日常の子供たちのそばに付き、担任とともにお子さんの変化を逃さずに捉え、学校で学習や生活への心配や困り感にいち早く対応するように努めています。

学級担任は子供たちと共に日常を過ごし支える重要な役割です。学校では1年を単位としてその学年に応じた成果の見える教育を展開する、との考えに立ち学級担任を配置します。

虫歯予防の指導

- ▲フッ素塗布を再開して欲しいです。

虫歯予防として、毎週火曜日にフッ化物洗口の実施を進めることとしていましたが「口から液を吐き出す」ため、感染症予防対策として、今年度は実施を見合わせています。いまだフッ化物洗口を再開する状況にはありませんが、「虫歯予防」についてご家庭と共通にできるよう、指導を進めます。